

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）中期計画（2016年-2020年）について

1. 背景

- EANETは、EANETの透明かつ効率的な活動の更なる推進及びその目的の達成のため、これまで「EANET発展戦略（2006年-2010年）」及び「EANET中期計画（2011年-2015年）」に基づいて活動を実施し、EANETとしての実績を積み重ねてきた。
- 今般、現行の中期計画（2011年-2015年）に代わる新しい中期計画（2016年-2020年）案がEANETの政府間会合において議論され、承認されたもの。
- 新しい中期計画（2016年-2020年）案の作成にあたっては、第12回政府間会合（平成22年・新潟）において採択された「EANET強化のための文書」に基づいて検討されてきた、EANETの活動範囲の拡大に関する検討結果を踏まえたものとなっている。

2. 中期計画（2016年-2020年）の概要

- 今次会合において、今後のEANETの5年間の活動を記載するEANET中期計画（2016年-2020年）を採択した。具体的な活動内容は、以下のとおり。
 - （1）継続的な酸性雨モニタリングの実施、モニタリング手法の改善、データの精度管理、データ管理の実施
 - （2）PM_{2.5}及びオゾンのモニタリングの推進、モニタリング地点数の増加、能力開発活動等による現行のモニタリングの強化
 - （3）大気浄化技術の情報交換、排出インベントリ及び研究活動の推進
 - （4）モニタリングデータの解析結果に基づく政策関連報告書等の提供
 - （5）普及啓発の推進
 - （6）政府間の協力の推進
 - （7）他の関連する国際機関等との協力／協働の推進
- 本計画の進捗状況を確認するため、事務局及びネットワークセンターは、2018年に中間報告書、2021年に最終報告書を作成し、政府間会合等に提出する予定である。また、必要に応じて、本計画の見直しを行うこととしている。